

# 阿南町 橋梁長寿命化修繕計画



竜田橋

平成 30 年 3 月

令和 3 年 11 月更新

長野県 阿南町

## 目 次

1. 長寿命化修繕計画の背景・目的	1
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	2
3. 健全度の把握及び日常的な維持管理、新技術の活用に関する基本的な方針	3
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本方針	4
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期または架け替え時期	4
	～9
6. 長寿命化修繕計画による効果	10
7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験等の専門知識を有する者	10

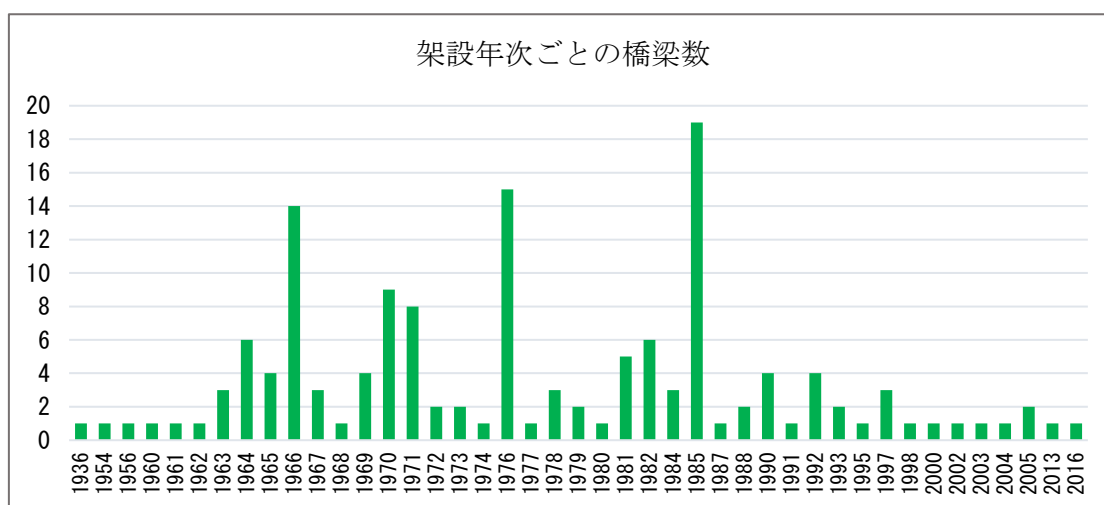
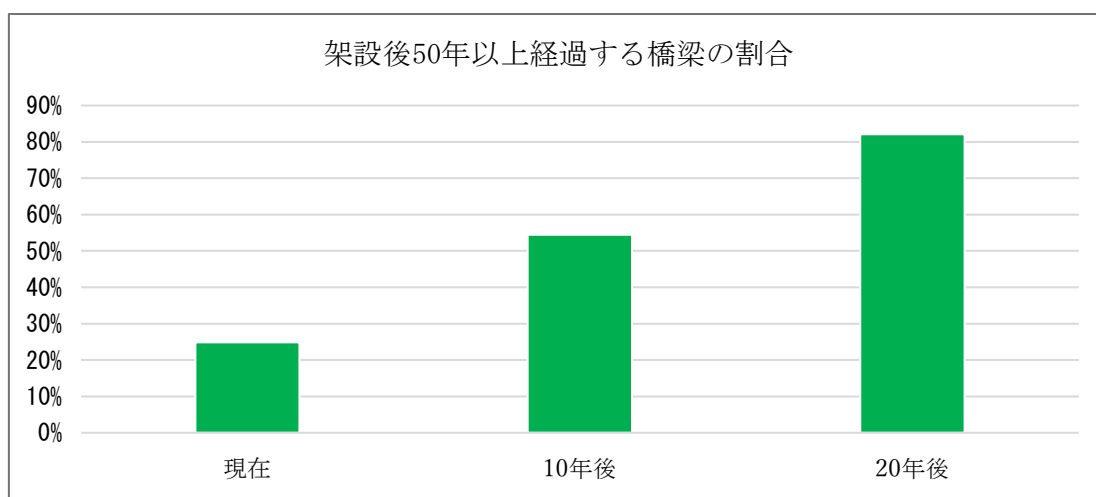
## 1. 長寿命化修繕計画の背景・目的

### 1) 背景

長野県阿南町が管理する橋梁（橋長 2m以上）は平成 30 年 3 月現在 157 橋です。阿南町が管理する橋梁のうち、現在建設後 50 年を経過した橋梁は 25%ですが、10 年後には 54%、20 年後には 82%となります。今後橋梁の架替えも含めた維持管理費が増大していくことが考えられることから、長寿命化を図ることが重要です。

### 2) 目的

長野県道路橋定期点検要領により平成 26 年度から平成 29 年度に実施した橋梁定期点検に基づき、健全度評価、変状内容、重要度等による優先順位付けを行い、従来の対症療法型の維持管理から予防保全対策により橋梁の長寿命化とコスト削減を図るものです。

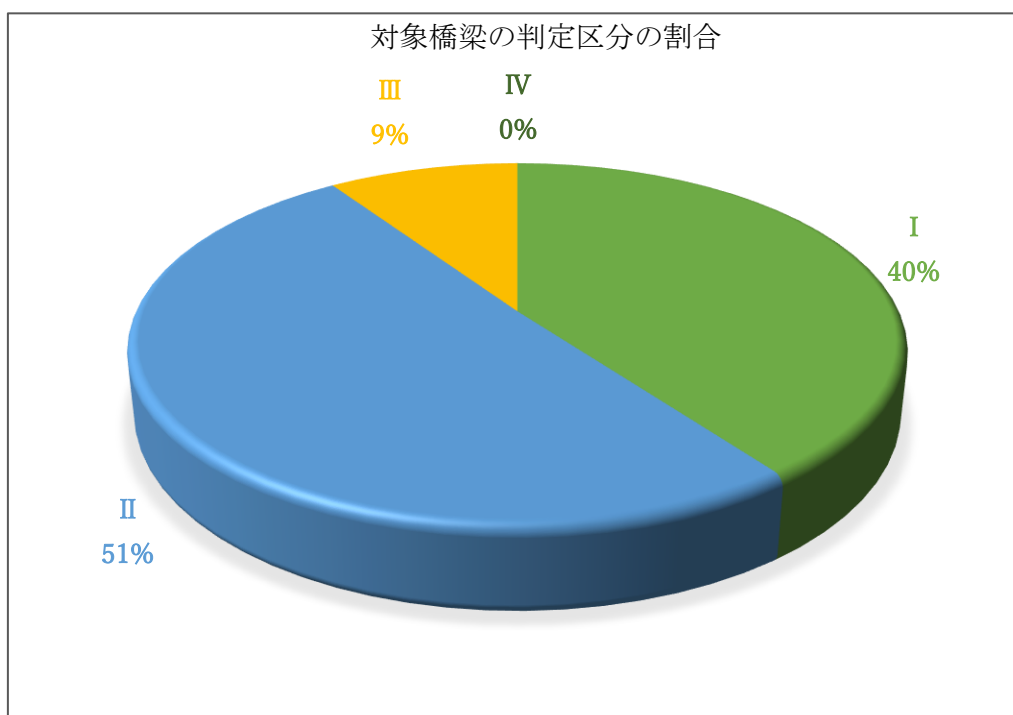


## 2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

阿南町が管理する橋長 2m以上の橋梁のうち、平成 26 年度から平成 29 年度に実施した橋梁定期点検において、橋梁毎の健全性の判定がⅡ以上と判定された橋梁について長寿命化計画を策定します。

内訳は下表のとおりです。

項 目	橋梁数	備 考
管理橋梁数	1 5 7 橋	
対象橋梁数	1 4 8 橋	グループ D を除く橋梁
判定区分 I	5 9 橋	
判定区分 II	7 5 橋	計画橋梁 8 9 橋
判定区分 III	1 4 橋	
判定区分 IV	0 橋	



### 3. 健全度の把握及び日常的な維持管理、新技術の活用に関する基本的な方針

#### 1) 健全度の把握の基本的な方針

5年毎の定期点検を実施し、損傷状況の把握を行います。前回点検と比較して劣化が進行している場合には、修繕計画を見直し、次回の点検の参考とします。

#### 2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

日常的な維持管理として、1ヶ月に1回の日常点検（道路パトロール）を行い、異常の早期発見に努めるとともに以下のような維持作業を随時実施し、巡回点検時には以下の箇所に着目して点検を行います。

##### ○簡易な維持作業

- ・路面の舗装補修
- ・排水桝、沓座付近の土砂撤去等

##### ○巡回点検時の重点監視箇所

- ・舗装のクラック、段差
- ・桁のクラック、劣化
- ・橋台、橋脚の劣化
- ・伸縮装置の異常

#### 3) 新技術の活用に関する基本的な方針

点検において、すべての管理橋で新技術の活用を検討する。

特に、1巡目の定期点検で橋梁点検車、高所作業車、ロープアクセス等を使用した橋梁については、新技術の活用を重点的に検討し、コスト縮減を目指す。

修繕工事においても、すべての橋梁で設計段階から新技術の活用を含めた、比較検討を行う。

#### 4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本方針

##### 1) 費用の縮減に関する基本方針

各橋梁の基本情報及び橋梁定期点検の結果に基づき、①重要度、②損傷度、③緊急度等から点数化し、その総合評点数により優先順位の基準とします。その上で、各橋梁の補修費、架け替え費用を算出し、コスト縮減効果の判断を行います。

##### 2) 優先順位の判定方法

各橋梁の定期点検結果に基づき、部材ごとの判定区分Ⅰ～Ⅳや部材による重み、変状内容による重み等を点数化し、①重要度グループ、②道路区分、③行政判断を係数化し、係数をかけた評点を総合評点数とします。総合評点数の高い橋梁から優先順位を決定します。

##### 3) 新技術の活用に関する基本方針

点検においては、新技術を活用することで、1巡目点検より1割程度の費用削減を目指す。併せて、令和8年までに1橋程度の集約化・撤去を検討し、維持管理費の費用削減を目指す。

#### 5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期または架け替え時期

様式 1-2 に年次計画、補修内容及び次回点検時期を示します。













## 6. 長寿命化修繕計画による効果

### 1) コスト縮減

壊れたら架け替えることを前提として補修を行わない場合と、補修を行って長寿命化を図った場合のコストを比較した場合、コストの縮減割合は 92%となり縮減効果が高いことがわかります。

### 2) 予算の平準化

橋梁の維持修繕にかかる費用を算出し、年次計画を立てることにより、予算の平準化が図られ、円滑な事業実施を行うことが可能となります。

## 7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験等の専門知識を有する者

### 1) 計画策定担当部署

阿南町 建設環境課 TEL : 0260-22-4053

### 2) 意見聴取した学識経験等の専門知識を有する者

信州大学 工学部 水環境・土木工学科 大上 俊之 教授